

社会福祉法人 大刀洗町社会福祉協議会 TEL 77-4877・FAX 77-6220
E-meil : tachi-shakyo@kurume. ktarn. or. jp



大刀洗中学校2年生職場体験

ミニデイで高齢者と交流しました



菊池小学校4年生総合学習
「さがそう町のバリアフリー」



配食サービス「青い鳥」でボランティア体験



車椅子の使い方を習って学校内のバリアフリーを調べました



保育園で保育体験

おもな内容

- P 2～3 平成22年度事業報告・決算報告について
- P 4 〈特集〉要援護者見守りネットワーク事業について
- P 5 東日本大震災被災地派遣報告
- P 6 保育園のページ…テーマは「食育」
- P 7 語ろう会「防災センター見学」・老人クラブのページ
- P 8 お知らせのページ…義援金報告・募集



(大刀洗町社協シンボルマークです。)

(5) 子育て支援の推進

- 子育て支援センターへの支援
- ・ 子育て支援連携会議への参加 (12回)
- ・ ブックスタート事業準備
- ・ ちゃおとちゃお2会議への参加
- 子ども見守り隊への支援
- ・ 子ども見守り隊全体研修会

(6) 母子・寡婦・父子福祉の推進

- 母子寡婦福祉会の援助

(7) ボランティア活動の推進

- ボランティアセンターの運営
- ボランティア連絡協議会への連携
- ボランティア団体の育成・活動支援
- ボランティア入門・養成講座の開催
- ・ 朗読研修会 実施日：3月19日 参加者：47名
- ・ 手話入門教室 実施日：5/26～11/24 全24回 修了者：9名
- ・ 災害ボランティア講座 実施日：10月2日 参加者：79名
- ボランティア情報誌「ちょぼら」の発行等広報、啓発の推進

(8) 福祉教育の推進

- 福祉協力校事業
- 福祉教育連絡会の開催
- 小・中学校の福祉教育への協力と支援

(9) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力

- 共同募金 実績額 3,707,822円
- 歳末たすけあい募金 実績額 768,634円

(10) 当事者組織への支援

- とまり木の会への支援 (家族介護者の会)
- 語ろう会への支援 (障害者当事者及び家族の会)
- ぼけっとへの支援 (障害児・者親の会)

(11) 心配ごと相談事業

- 各種相談事業 相談件数 13件
- 無料弁護士相談 相談件数 26件

● 相談員研修会

実施日：3月25日 参加者：13名
「消費生活問題の現状」
講師：福岡県消費生活センター
相談員 森村純子氏

(12) 広報と調査活動

- 社協だよりの発行：計6回

福祉サービス利用支援部門

(13) 日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業)

- 認知症高齢者・知的障害者・精神障害者などへの「福祉サービス利用」の取組と利用手続き及び代行、生活支援員の派遣

(14) 要介護世帯等の福祉活動の推進

- 生活福祉資金の貸付及び償還の指導

在宅福祉サービス部門

(15) 居宅介護支援事業

- 身体障害者・知的障害者・児童へのホームヘルプ事業 (障害者自立支援)
対象者：6名 訪問回数：388回
訪問時間：791.5時間
- 生活管理指導員派遣事業
対象者：3名 訪問回数：118回
訪問時間：169時間

(16) 各種在宅介護サービス事業

- 福祉有償運送事業
利用回数：68回 利用者 (実質)：5名
児童福祉施設運営部門

保育園運営部門

(17) 保育園運営事業

- 大堰・本郷保育園の運営
- ・ 定例園長会の開催 (毎月第4月曜)
- ・ 保育園運営連絡会の開催 (町への運営状況報告)

地域コミュニティ支援部門

(18) 校区センター指導員配置事業

- 校区センター指導員の配置

平成22年度 大刀洗町社会福祉協議会 **収支決算** (収支計算総括表)

(単位：円)

会計名	経理区分名	期首金額 (前年度繰越金)	収入済額	決算額	差異
一般会計	1. 法人運営経理区分	6,239,837	30,219,917	31,623,129	4,836,625
	2. 地域福祉活動事業経理区分	505,824	1,582,000	1,456,668	631,156
	3. 共同募金配分金事業経理区分	39,510	4,159,100	4,160,266	38,344
	4. 居宅介護等事業経理区分	493,161	1,871,087	1,886,216	478,032
	5. ボランティアセンター経理区分	123,945	705,000	717,222	111,723
	6. 生活福祉資金貸付事業経理区分	1,160	307,891	307,891	1,160
	7. 心配ごと相談事業経理区分	133,924	303,000	371,510	65,414
	8. 福祉バス運行事業経理区分	568,795	3,906,750	3,775,773	699,772
	9. 福祉有償運送事業経理区分	102,696	105,120	118,617	89,199
	10. 大堰保育園経理区分	4,635,390	69,721,505	65,076,733	9,280,162
	11. 本校保育園経理区分	8,389,787	117,992,007	112,985,842	13,395,952
	12. 校区センター指導員配置事業経理区分	10	10,068,433	10,068,433	10
	13. 保育士再就職支援事業経理区分			2,585,311	2,464,759
	合計	21,234,039	243,527,121	235,013,059	29,748,101

平成22年度 大刀洗町社会福祉協議会 事業報告

●事業全体に対する統括●

平成22年度は、法人本部に正職員を採用し、各事業部門に対する担当を置くことにより、事業の効率化と見直し等が図られた。また、毎週の朝礼時に各職員の業務内容を共有化することにより、担当以外の事業についての理解も深まり、連携が図れるようになった。保育園の運営については、2年目に入り民営化当初では見えなかった課題等も浮き彫りとなったことで、組織や運営の強化につながったと考えられる。

重点目標

(1) 見守りネットワーク協議会の組織化推進

昨年度より進めている『要援護者見守りネットワーク事業』は、殆どの行政区で事業実施若しくは事業開始に向けて地域での組織化が進んでいます。今後、この事業を日常生活の中で継続的に行うためには、小地域協議会ごとに活動内容や要援護者の確認が必要となります。また、要援護者を見守る体制を構築していく場合、「住民」「行政」「社協」が一体となって、意思統一を図り目標に向かう必要がありますので、昨年度と同様に、小地域協議会の活動推進と、地域と専門機関の連携強化を目指します。

行政区毎の小地域協議会の組織化を目指し、個別に説明会等を行い、要援護者の見守り体制作りを行いました。また、地域の中から要援護者の救急時の対応として「救急医療情報キット（いのちのバトン）」事業の実施を求められ、消防署等関係機関との協議を重ね、大刀洗町全体で実施できるよう体制を整えることができました。今後は小地域協議会の組織強化を進めつつ、地域の状況に応じた活動を地域の中で見出せるよう支援を行います。

法人運営部門

(1) 社会福祉協議会の運営

地域福祉活動推進部門

(2) 住民主体の地域福祉活動の推進

- 要援護者見守りネットワーク事業の組織化
- ・ 要援護者見守りネットワーク協議会幹事会
- ・ 要援護者見守りネットワーク全体会
- 小地域ネットワーク活動の育成と支援
- ・ 住民福祉台帳の整備
- 地域福祉講座の開催（校区ごとに実施）
- 「自分らしく暮らすために
～発達障害から考える地域福祉～」
- 福岡県発達障害者支援センター
相談支援員 山田 千明 氏
- 困りごと相談会議（にがうり会）への参加
- ミニデイサービス事業の育成と支援
- 延べ回数：234回 延べ利用者数：3,885名
- 延べボランティア数：2,746名 合計：6,631名
- 地域包括支援センターとの連携 随時
- 福祉協力員研修会の開催
- 「大刀洗町の福祉の状況について」

(2) 保育園事業の安定化

昨年度より社会福祉協議会において大堰保育園・本郷保育園の運営を始め、町立保育所からの「保育の継続性」を目標に1年間運営してきました。今年度も昨年度より引き続き、社会福祉協議会が運営する保育園として「地域に愛される保育園」を目標に特徴のある保育方針を定め、園児の確保にもつながる地域に密着した事業を展開し、保育園事業の安定化を目指します。

今年度は、両園ともに定員を超える入所があり、園児の確保については十分に達成できました。一方で、未満児を中心とした途中入所者が増加したため、職員を増員するとともに、職員間の連携の強化を図るために職員研修を行うなど、園内の組織体制を整えました。また、新たな園の取り組みとしてサッカー教室など、園児が心身ともに健やかに育つようなカリキュラムを整えました。

子どもを取り巻く環境が変化する中、職員一人ひとりの保育の質を高めるために、研修等を積み重ね、今後も地域に愛される保育園を目指します。

社協・地域包括支援センター

「悪徳商法の実態とその対応について」

青翠法律事務所 宮崎 智美 氏

(3) 高齢者福祉の推進事業

- 男性の料理教室への支援
- 独居老人への味噌配布事業への援助
- 福祉バス運行事業
- ・ 老人クラブ温泉送迎
- 運行回数：203回 延べ利用者数：5,008名
- ・ その他（ミニデイ等）
- 運行回数：66回
- 延べ利用者数：2,228名 合計：7,236名
- 老人クラブの育成と支援
- 折り紙サロンの実施

(4) 障害者福祉の推進事業

- 凸凹の会（点訳の会）
- 身体障害者福祉協会への支援
- 地域自立支援協議会への参加
- 車椅子の貸出し
- 視覚障害者へ朗読ボランティアによる
“声の広報”録音テープ配布
- 手話通訳者派遣事業 派遣回数：58回

『住みたい町大刀洗 住んでよかった大刀洗町』をめざして!②

～要援護者見守りネットワーク事業の取り組み～

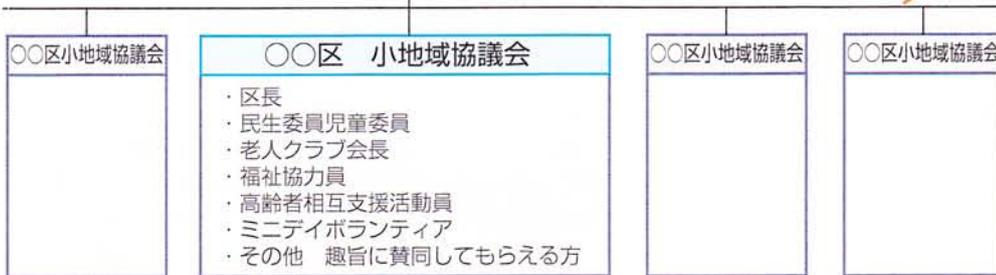
前回の社協だよりでは、本事業の簡単な内容を掲載していましたが、今回は組織体制と具体的な活動内容をご紹介します。

大刀洗町要援護者見守りネットワーク協議会 組織図

見守りネットワーク協議会幹事会		
・行政区長	校区の代表	4名
・民生委員児童委員	会長1 校区の代表4	5名
・老人クラブ	会長1 校区の代表4	5名
・社会福祉協議会	会長1 副会長2	3名
・総務課		1名
・健康福祉課	課長1	1名

- ・社会福祉協議会職員
- ・健康福祉課職員
- ・総務課職員
- ・地域包括支援センター職員

区長会長や民生委員などから組織される『幹事会』において、町全体の活動を協議し、行政区単位の『小地域協議会』において、見守り活動等を行います。



小地域協議会とは・・・

『小地域協議会』とは、行政区単位で組織される、見守りネットワークの実行部隊です。その活動内容として、以下のような取り組みをあげています。

- ①ミニデイや声かけなど見守りの取り組み
- ②要援護者の把握、緊急連絡先の資料及び名簿の作成、追加、更新
- ③要援護者の緊急連絡先など記された資料の管理
- ④要援護者を白地図に明示（福祉マップ作り）
- ⑤小地域協議会の定期的な開催

ただし、地域によって、住んでいる人も違えば年齢層・高齢化率なども違いますので、見守りの方法についても、直接訪問しての安否確認であったり、隣組長の協力による回覧板による見守りなど、地域によって様々です。

また、この活動は、決められた期間だけする活動ではなく、今後も未永く続けて行かなければならない活動ですので、その地域に合ったメンバーで、無理のない活動を、実際に活動される方々で決定しています。

今回は『小地域協議会』の基本的な活動内容を紹介しましたが、活動内容はこれだけではありません。

次回は、見守り活動の1つとして現在拡がりつつある『いのちのバトン』事業についてご紹介します。



東日本大震災被災地派遣報告

福祉活動専門員 池松 昌亀

3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の大災害となりました。発生から4カ月が経過した現在でも、津波の被害はもとより、福島県においては原発による放射能被害も深刻な問題となっています。

このような災害時、復興に向け重要になってくるのが『ボランティア』の力であり、被災者の『ニーズ』とボランティアを繋げる『災害ボランティアセンター』です（以下 SVC と表記）。SVC は、基本的に市町村の社会福祉協議会が立ち上げて運営を行うことになっており、大刀洗町社協でもこのことに関する研修を行ってきました。

今回、6月11日から6月20日までの10日間、被災地の一助となるよう、福島県新地町災害ボランティアセンターに派遣されました。簡単ではありますが被災地派遣の報告をいたします。

新地町 SVC は新地町役場前にプレハブで設置され、総勢 20 名程度で運営されています。組織としては、下記のとおり 4 つの班に分かれ、各班ごとに人員が配置され運営を行っています。

◇ 組織体制 ◇

総務班

全体統括、各種証明発行、活動資材物品管理、
出納管理、広報、苦情処理 他

受付班

ボランティアの受付、ボランティア保険加入手続き、救護活動 他

ニーズ・マッチング班

ニーズ受付・調査・管理、ニーズの調整、紹介先の決定、グループリーダー選出、オリエンテーション、
ボランティア活動報告 他

車輛・資材班

物品・資材の管理受け渡し、紹介先への送迎、資材購入、車両管理 他



(新地町災害ボランティアセンター)

SVC スタッフも各地から集まってきたボランティアや団体・社協などで構成され、交代・引き継ぎを繰り返しながら運営を行っています。中には、被災当初から現在まで長期間運営のスタッフとして活動されているボランティアもいて、こういったボランティアの力によって SVC が支えられているということを感じました。

被災地のボランティア活動ですぐに思いつくものは、『避難所支援』や『家屋の片づけ』『側溝などの泥出し』などではないかと思います。4カ月が経過した現在、仮設住宅が次々と完成し、避難所を閉鎖して行くなかで、これから求められる支援は『住環境の整備』から仮設住宅での『生活支援』に移ってきています。

遠く離れた九州で被災地の復興を願う私たちに、今何ができるのか……。被災地である新地町ボランティアセンター長が「被災地に来て活動を行っていただけることもありがたいが、いまだに福島に関する風評被害が強い。地元に戻って『福島は大丈夫だ』ということをお願いすることも被災地支援です。」と話されていました。

福島県やその他の被災地に対する間違った認識や偏見をなくすことから、本当の『復興』が始まるのではないかと思います。

保育園のページ

テーマ：食育に取り組む

「食は命・育てる喜び」を柱に、年間を通して体験型の食育をすすめていきます。今号では、大堰保育園のクッキングの様子と、本郷保育園の土作りに取り組む様子を紹介します。

大堰保育園

食べる力は生きる力



「作る喜びを楽しむ」を年間目標に「子ども達が植えた野菜を収穫し、その素材に触れ、クッキングを楽しむ」という体験を計画しています。

今年も、トマト・きゅうり・オクラ・ゴーヤなどを植えました。子ども達は「大きくな～れ！」と水やりをしたり、「青色のトマトがなってるよ！」と目を輝かせて教えてくれたりします。

早速、5月のクッキング教室は、空豆を使ったあん入りお焼き餅を作りました。こねて丸めて、餅にあんを入れる時は真剣な表情を見せていました。おやつにいただくと「美味しい！」「ふあんふあんしてる～」と満面の笑顔でおかわりをしていました。

また、昨年好評だった梅干し漬けを今年も取り入れました。3歳児が梅を水できれいに洗ってヘタを取り、4、5歳児が梅に塩をまぶし、ねかせています。「美味しくできるといいね」と楽しみにしています。

年間を通して季節の旬を取り入れたクッキングを楽しんでいきたいと思えます。



本郷保育園

菜園活動は土作りから!



平成23年度の食育年間目標は「楽しく食べる～おいしい野菜を育てよう～」です。

5月、昨年の年長児が植えた玉ねぎやスナップえんどうを全園児で収穫、玉ねぎの皮むきやピーマンの種取りを体験しました。

今回は1才児が玉ねぎの皮むきに挑戦しました。給食の時には覚えたての言葉で「た・ま・ね・ぎ」と言いながら、自分たちの手で皮をむいた玉ねぎを美味しくいただきました。

6月の中旬には、年長児から2才児までがピーマンやおくらの苗を植えたり、人参や枝豆の種をまいたりしました。堆肥作りでは、2才児・1才児が給食材料で出た野菜の「くず」を小さな手でちぎり、「おおきな～れ」とおまじないをかけています。

今、6月の初めにみんなで種まきした人参や枝豆がかわいい芽を出し、本郷保育園菜園は大賑わいです。

今年度も、畑づくりや土作りを通して、たくさんの野菜作りに取り組んでいきます。



各種団体のページ

語ろう会(障がい者当事者及び家族の会) 防災センター行き報告

語ろう会代表 森 簡子

6月5日(日)語ろう会18名が防災センターで火災(煙)・強風・地震などの体験をしました。センター職員の対応がとてもよくて、目が見えない人には消火器に触らせながら丁寧に説明されていました。

地震体験は車椅子でも体験できるようになっていて、私は震度4を、他の会員は震度5の揺れを体験、また強風体験では入り口の段差をみんなが車椅子ごと抱えてくれて、一緒に体験することができました。

地震体験・強風体験、どちらもわたしは平気で楽しく体験しましたが、これが、自宅に1人である時に起きたら、こんなに平静ではいられないでしょう。地震が起きても車椅子に乗っていても机の下に隠れる事は無理…、車いすのタイヤは割れたガラスでパンク…。

災害が起きた時、障がい者には健常者からは考えられない問題がたくさんあります。私たちの他にも障がい者の団体が来ていて、関心の高さを感じました。

「語ろう会」は、障がいを持った人が福祉などの情報を得られる場として、また、いろいろな悩みや気持ちをうちあけられるよりどころとして、障がいのある人もない人も、ともに語り合う会でありたいと思っています。語り合いに来られませんか？

語ろう会定例会：毎月第1火曜日 午後8時～ ぬくもりの館



老人クラブのページ

グラウンドゴルフ交流大会結果(6月9日)

- 1位 柳 邦 壽 (上高橋)
- 2位 山 田 寿 夫 (高 樋)
- 3位 戸 町 イツキ (甲 条)

メイクUP教室を開催しました

5月13日(金)女性部を対象にメイクUP教室を開催、資生堂美容部員さんに本格的なメイク術を指導していただきました。

女性は化粧をすると脳が刺激され、頭や気持ちが若返り、健康づくりや介護予防にも役立つそうです。女優さんのように美しくなった女性部の皆さんに大好評でした。

…今後の主な日程…

☆グラウンドゴルフ県選抜大会

日時：7月21日(木)

午前8時(受付)

午前8時30分(開会)

*雨天予備日：7月28日(木)

場所：町運動公園

*上位4名が、県大会(9月21日:岡垣町)に出場します。

健やか健康体操教室のお知らせ



毎週木曜日・ぬくもりの館で、ADIインストラクター野口裕子先生による「健やか体操教室」を開催しています。

よく町の皆さんから「仕事で体を動かすけん、運動はせんでよか」と聞きますが、運動と仕事では体の使い方が全く違うそうです。

綺麗に年齢を重ねるには、全身の筋肉を上手に使うこと、ウォーキング・自転車・エアロビクス等の有酸素運動をするのが良いそうです。

健やか体操教室では、誰でも無理せずに楽しめる体操を教えていただいています。皆さんも一度体験されませんか。

毎週木曜日 午前10時～11時30分 ぬくもりの館 会議室

お知らせのページ

参加しませんか？

とまり木の会（家族介護者の会）



在宅で介護をしている人同士の交流の場です。介護を卒業した人が聞き役となって悩みや相談など気兼ねなく語りあったり、介護についての情報交換をしたり、また、簡単料理の実習やストレッチ体操など、会員主体で計画しています。介護をされている方、ひと休みしに来られませんか？

定例会：毎月第3火曜日
午前10時～正午 ぬくもりの館

凸凹の会（点字サークル）



点字は視覚障がい者が指で触って読む文字。エレベーターやビール缶など、いろいろなところでみかけます。

凸凹の会は視覚障がい者のために点字を使ったボランティアを目指して勉強しているサークルです。最近はパソコンでも点字がうてるようになりました。

点字の世界は意外に面白いですよ、一緒に勉強してみませんか？

定例会：毎月第2・4木曜日
午後8時～9時30分 ぬくもりの館

問合せ先

大刀洗町社会福祉協議会 電話：77-4877

子ども見守り隊全体研修会



7月5日（火）小郡警察署・生活安全課職員とスクールサポーターを講師に招き、大刀洗町や近隣の犯罪状況と見守り隊の役割について話を聞きました。

幸い大刀洗町は近隣にくらべ犯罪の発生件数は少ないものの子どもに関する事では「露出」と女子高生への「声かけ」が複数件おこっているとのことでした。また、子ども達がケータイやインターネットで簡単につながり、状況によっては非行の温床となる事例もふえてきているとのこと。地域の見守りボランティアと警察を含む行政との連携が「社会一体型の犯罪の起きにくい社会づくり」には大事であるとお話でした。参加した隊員45名も熱心に耳を傾けていました。

東日本大震災被災地復興応援募金

途中報告

多額の義援金をお寄せいただき、ありがとうございました。義援金は中央共同募金会を通し配分されます。

大刀洗町社会福祉協議会では、引き続き9月30日（金）まで義援金の受付をいたします。

義援金募金者（順不同・敬称略）

たけのこクラブ
大堰小学校
大堰小学校PTA
高樋区
大刀洗町遺族会
下高橋区

合計1,870,605円（平成23年6月22日現在）